

一步

～未来の自分のために種をまこう～

学年通信
高美が丘中学校 第1学年
令和8年3月9日(月)発行

一所懸命がかっこいい

～理想の先輩を目指して～

早春の柔らかな日差しが感じられる季節となりました。高美が丘中学校を彩るパンジーは冬の寒さにも雪にも負けることなく、立派な花を咲かせております。いよいよ、1学年の締めくくりが近づいてきました。

この一年、生徒たちは「生活三訓」を徹底し、社会生活で大切な「人間性」の土台を築きました。これらは友達など、周りの人と信頼関係を築くうえで必要不可欠な力です。近年、生成AIが台頭し、知識の集約や作業の自動化が加速しています。こうした時代だからこそ、「自ら考え選択し、行動する」「自分の気持ちを言葉にして伝える」といった、「人間にしか成し得ない価値」を磨く必要が高まっていると考えます。

一方で、提出物の未提出や自ら積極的に行動するといった部分は、まだまだ改善の余地があります。先生や先輩からの指示を待つのではなく、自ら考え、責任を持ってやり抜く力こそが、次なる二年生、先輩としての姿です。四月からは中堅学年。新一年生にとって頼られる先輩となり、三年生を支えられる「学校の柱」として、たくましく立派に成長していく姿を期待しています。

ポスターセッションを開催しました

3月2日(月)にキャリア教育(進路学習)一環として「職業調べポスターセッション」を開催しました。生徒たちは、一人二分という限られた時間の中で、自分が調べ新聞にまとめた職業の魅力、役割をポスターセッションという形で発表しました。

ポスターセッションでは、聞き手から鋭い質問や「知らなかった!」という驚きの声、感想などが次々と飛び交い、教室は学びの熱気に包まれました。お互いの発表を通して、多様な生き方や働くことの意義を再確認する、非常に有意義な時間となりました。

これを機に、ぜひご家庭でも「将来の夢」や「仕事」について話題にしてみてください。保護者の皆様の実体験に基づいたお話は、生徒たちにとって何よりの「生きた教材」となるはずです。



インドネシア遠隔交流学习を行いました

3月3日(火)に東広島市教育委員会や広島大学の協力のもと英語科でインドネシア遠隔交流学习を行いました。タブレットを通して異国の同世代が映し出されると「自分の英語は通じるのだろうか・・・」と心配の声も上がりましたが、そんな不安を抱えながらも勇気を出して英語を話す姿がとても印象的でした。教科書や授業でしか使用しなかった英語を使って異国の同世代と会話ができる喜び、言葉の壁を越え、心が通じ合うことの純粋な楽しさを肌で感じた瞬間となったと思います。この「もっと話したい」という熱い思いをぜひこれからの学習につなげてほしいと願っています。



後期期末試験を終えて

先月18日から3日間にわたり、生徒たちは今年を締めくくる後期期末試験に挑みました。勉強が得意、不得意にかかわらず自ら設定した目標点に向けて最後まで諦めずに問題を解く姿に大きな成長を感じました。今回の後期期末試験で一学年の試験は終了しましたが、今後も学びは続きます。全ては、2年後に待っている高校入試そして、その先に待つ「自分の思い描く未来」のためです。

進路実現、夢や目標の達成のためにも、一所懸命に勉強や部活動などに取り組みましょう。一所懸命なみなさんをいつも応援しています。

